Assetalyze — Portfolio Optimizer

かんたん取扱説明書

対象バージョン：1.0.55.0

最終更新：2026 年 10 月 27 日

提供元：Yu Investudy

https://yu-investudy.com/support/assetalyze/ja/guide/

目次

1. Assetalyze とは 2

2. はじめて使う 2
- 2.1 インストールする . . . 2
- 2.2 言語・通貨・法的情報を確認する . . . 2
- 2.3 計算環境を確認する . . . 2
- 2.4 画面の流れ . . . 3

3. Trial 版と購入版 3
- 無料で試す . . . 3

4. まずデモで試す 3

5. 自分の資産データを準備する 4
- 5.1 公開市場データを追加する . . . 4
- 5.2 CSV の基本形式 . . . 4
- 5.3 CSV を登録する . . . 4
- 5.4 通貨・配当・為替を確認する . . . 4
- 5.5 今回使う資産を選ぶ . . . 5

6. 分析条件を設定する 5
- 6.1 金額・期間・配分の探し方 . . . 5
- 6.2 値動きの制約・リバランス・費用 . . . 5

7. 分析を実行する 6
- 7.1 実行前に確認する . . . 6
- 7.2 分析を始める . . . 6
- 7.3 止める・続きから再開する . . . 6

8. 結果を見る 6
- 8.1 確認する結果を選ぶ . . . 7
- 8.2 ダッシュボードで全体を見る . . . 7
- 8.3 資産推移を見る . . . 7
- 8.4 グラフを大きく見る . . . 7
- 8.5 詳細データ・配分比較を見る . . . 7

9. 指標の見方 8

10. 自由配分を使う 8
- 10.1 固定配分を作る . . . 8
- 10.2 比較を実行する . . . 8
- 10.3 結果を見る . . . 9

11. 結果を保存する 9
- 11.1 表を CSV で保存する . . . 9
- 11.2 グラフを画像で保存する . . . 9
- 11.3 概要レポート・結果フォルダを開く . . . 9

12. 結果を削除する 9
- 最後の結果を削除した場合 . . . 10
- 元に戻したい場合 . . . 10

13. 言語・評価通貨・外観 10

14. データをバックアップする 10
- 14.1 入力と結果をコピーする . . . 10
- 14.2 設定や登録情報も残す場合 . . . 10

15. Microsoft Store ライセンス 11
- 購入したのに使えない場合 . . . 11

16. 困ったとき **11**
高度なトラブルシューティング 12

17. アンインストール **12**

18. 詳細取扱説明書について **12**

対象：Microsoft Store 配布版 1.0.55.0

初めての方は第 2〜8 章を順番に読めば基本操作ができます。
結果を保存するときは第 11 章へ進んでください。まず操作を試したい方は、第 4 章のデモを使えます。

本書は、詳細取扱説明書／仕様リファレンスを、一般の利用者向けにまとめたものです。画面名とボタン名は日本語表示に合わせています。

1. Assetalyze とは

Assetalyze は、過去の価格データを使って、資産の組み合わせを比較するアプリです。資金をどの資産へ何%ずつ振り分けるかを「資産配分」と呼びます。

主に次のことができます。

- 選んだ資産について、条件に合う配分を探す。
- 自分で決めた配分を、ほかの配分と比較する。
- 積立や定期的な配分調整を含め、資産額の変化を見る。
- 結果を表・グラフ・レポートで確認して保存する。

実際の証券口座へ注文するアプリではありません。
表示される「最適」は、指定したデータと条件の中での結果です。将来の利益や元本を保証せず、投資・税務・法的助言を行いません。

2. はじめて使う

この章では、インストールして分析の準備を整えます。

2.1 インストールする

1. Microsoft Store で「Assetalyze — Portfolio Optimizer」を開きます。
2. お使いの PC にインストールできることを確認します。
3. Store に表示される提供条件や価格を確認して、インストールします。
4. スタートメニューから Assetalyze を起動します。

購入・支払いは Microsoft Store の画面で行います。動作環境の詳しい条件は、詳細取扱説明書の第 2 章を参照してください。

2.2 言語・通貨・法的情報を確認する

1. 初回の確認画面で、表示言語を選びます。
2.「評価通貨」を選びます。これは、投資額の入力や結果表示に使う通貨です。
3. 法的文書を読み、利用する場合は同意手順に従います。同意しない場合は終了します。

日本語と日本円を使う場合は、日本語と JPY を確認します。言語と評価通貨は、後から別々に変更できます。

評価通貨を変更しても、入力済みの金額は自動換算されません。
変更後は、初期投資額と積立額を確認してください。

法的文書は、後から左メニューの「法的情報」で開けます。

2.3 計算環境を確認する

「計算環境」は、お使いの PC でどの計算方法を使えるか確認する画面です。

1. 左メニューの「計算環境」を開きます。
2.「使用する計算方法」で「自動選択（推奨）」を選びます。
3.「計算環境を自動設定・確認」を押します。
4. 診断が終わり、確認済みになったことを確認します。
5.「基本設定へ進む →」を押します。

CPU は PC の主な計算装置です。GPU は画像処理などに使う装置で、対応する NVIDIA GPU では計算の高速化にも利用できます。GPU を使えない環境には CPU で計算する方法があります。

手動の性能設定が分からない場合は、まず自動確認を使ってください。

2.4 画面の流れ

画面	ここで行うこと
基本設定	分析する資産、金額、期間、費用などを設定する。
詳細設定	保存する結果の種類、言語、外観などを設定する。
実行	分析を開始し、進み具合を確認する。
結果サマリー	完了した分析を選び、表やグラフを見る。

3. Trial 版と購入版

Trial は、期限なしの無料体験範囲を指します。まず架空のデモデータで操作を試せます。

使いたい機能	無料で利用	購入済みの利用権で利用
正規デモの分析・結果表示・出力	○	○
自分の CSV が読めるか確認	○：確認専用	○
CSV を資産として登録	購入が必要	○
公開市場データを取得	購入が必要	○
実データで分析・再計算	購入が必要	○
実データの保存結果の利用・再開	購入が必要	○

CSV は、表のデータを保存するファイル形式です。

無料で試す

1. ホームで「正規デモを試す」を押すと、架空データで操作を確認できます。
2. 手元の CSV を調べる場合は「無料 CSV 互換性チェック」を使います。

CSV 互換性チェックは、読み取りや列の形式を確認する機能です。**確認に成功しても、資産登録や分析は行われません。**元 CSV の変更やアップロードも行いません。

実データを利用する場合は「Store で購入」から手続きし、ホームの「利用権：購入済み」を確認します。詳しくは第 15 章を参照してください。

4. まずデモで試す

デモは、架空の価格データで分析の流れを体験する機能です。自分の CSV は不要です。

1. ホームで「正規デモを試す」を押します。
2. デモであることを示す画面表示を確認します。
3. 計算環境の確認を求められた場合は、第 2 章の手順を行います。
4. 「基本設定」で、資産・金額・評価期間を確認します。
5. 「詳細設定 → 出力」で、出力レベルを確認します。「標準（推奨）」は通常の結果確認に使えます。
6. 「実行 → シミュレーション開始」を押します。
7. 実行名の確認画面で名前を指定します。空欄でも実行できます。
8. 完了後、「結果サマリー」を開きます。
9. 上部の「結果」で、今回の分析を選びます。
10. 「ダッシュボード」「資産推移」「詳細データ」を順に見ます。

ここまでで、分析から結果確認までの基本操作を試せます。表やグラフを保存する手順は第 11 章です。

デモの数値は実際の市場成績ではありません。
自分のデータを使う前に通常データへ戻し、資産・金額・評価通貨・期間を確認し直してください。

デモだけを続ける場合、第 5 章のデータ登録は不要です。第 6 章へ進みます。

5. 自分の資産データを準備する

開く場所：基本設定 → 資産・データ

公開データを取得する方法と、手元の CSV を登録する方法があります。実データの取得・登録には、購入済みの利用権が必要です。

5.1 公開市場データを追加する

1.「市場データを自動取得」を押します。
2. カタログから対象を選びます。
3. 提供元・通貨・利用条件を確認します。
4.「選択を追加」を押します。
5. 取得後、資産一覧に名前と期間が表示されたことを確認します。
6. 分析に使う資産へチェックを付けます。

Gold、Silver、Platinum などに対応しています。任意の株式や ETF を銘柄検索して取得する機能ではありません。対応する全データは、詳細取扱説明書の第 11 章を参照してください。

登録済みのデータを更新する場合は「選択を再取得」を使います。**過去のデータをそのまま残したい場合は、再取得前にバックアップしてください。**

5.2 CSV の基本形式

少なくとも、日付と価格が分かる列を用意します。例えば次の形式です。

```
Date,Price
2024-01-31,100.00
2024-02-29,101.25
2024-03-31,99.80
```

これは書式だけの例です。3 行だけでは、年単位の分析に十分な期間がありません。

日付を「年-月-日」、小数点を「.」、数値の桁区切りをなしにすると確認しやすくなります。形式を直す場合は、元ファイルを残して別コピーで作業してください。

5.3 CSV を登録する

1.「CSV 資産を追加」を押します。
2. 元 CSV を選びます。
3.「CSV 読込結果を確認」で、資産名・通貨・日付列・価格列を確認します。
4.「読み込み・プレビュー」を押します。
5. 元 CSV と見比べ、日付・価格・期間・行数・注意表示を確認します。
6. 日付と価格について、画面の確認項目にチェックを付けます。
7.「確認した内容で登録」を押します。
8. 資産一覧へ反映されたことを確認します。

読込条件を変えた場合は、もう一度プレビューしてください。文字化けや日付の取り違えがある場合は、登録前に読込画面の「詳細設定」を確認します。

登録後は、アプリが管理するコピーを使用します。**元 CSV も保管してください。**登録済みの管理コピーを直接書き換えず、更新はアプリの確認・差し替え操作で行います。

5.4 通貨・配当・為替を確認する

1. 資産がどの通貨の価格か確認します。登録時の通貨は自分で指定します。
2. 配当を扱う場合は、対象資産を選び「配当・分配金を設定」を開きます。
3. 価格が通常終値か、配当を含む調整後終値かを確認します。
4. 評価通貨と資産の通貨が違う場合は、必要な為替を確認します。
5. 為替が不足する場合は「基準データを管理」を開きます。

配当込みの価格へ同じ配当を別に加えると、二重に数えるおそれがあります。
配当の入力方法や為替 CSV の向きが不明な場合は、詳細取扱説明書の第 10〜12 章を参照してください。

5.5 今回使う資産を選ぶ

資産一覧のチェックが、通常分析の対象を決めます。登録した資産をすべて同時に使う必要はありません。分析対象は 1〜10 資産です。

次回の分析から外すだけなら、チェックを外します。「選択資産を削除」は登録を削除する操作なので、使い分けてください。

データモードも確認します。

選択	使い方
ハイブリッド（推奨）	登録済みデータを使い、不足時に対応する公式データ源を利用します。
ローカルのみ	必要なデータを PC 内に揃えて使います。
自動取得のみ	製品が対応する自動取得データを使います。

資産同士の期間が異なると、分析できる共通期間が短くなる場合があります。

6. 分析条件を設定する

ここでは「どのような投資を想定して比較するか」を決めます。金額や割合は、実際の売買指示にはなりません。

6.1 金額・期間・配分の探し方

開く場所：基本設定 → シミュレーション条件 1（投資・最適化）

1. 初期投資額と毎月の積立額を入力します。
2. 評価する「ローリング期間」を選びます。
3. 配分刻みと最適化指標を選びます。
4. 各期間を個別に評価するか、複数期間をまとめて評価するかを確認します。

項目	意味
初期投資額	各評価期間の最初に、1 度だけ入れる金額。
毎月の積立額	最初の月を含め、毎月入れる金額。
ローリング期間（最大 3 つ）	開始月をずらしながら比較する期間の長さ。1〜100 年から最大 3 つ選びます。
配分刻み	配分候補を何%刻みで探すか。5・10・20・25・50%から選びます。
平均最終資産 最大	各期間の終了時資産額を平均し、その値が大きい候補を選びます。
中央値最終資産 最大	終了時資産額を並べた中央の値が大きい候補を選びます。

「10 年ローリング」なら、開始月をずらして複数の 10 年間を比較します。使用するデータには、その年数を満たす履歴が必要です。

「各期間を単独最適化」は、年数ごとに配分を探します。「複数期間の総合最適化」は、複数の年数をまとめて評価します。両方を選ぶこともできます。

初期投資額と毎月の積立額を、両方 0 にはできません。
配分刻みを細かくすると候補数が増え、計算時間やメモリも多く必要になります。

6.2 値動きの制約・リバランス・費用

開く場所：基本設定 → シミュレーション条件 2（制約・コスト）

1. Vol 上限の開始・終了・刻みを確認します。
2. リバランスの有無と間隔を選びます。
3. 売買コストと税率を確認します。
4. 必要に応じて配当の扱い、開始日・終了日を指定します。

Vol（ボラティリティ）は、値動きのばらつきの大きさです。Vol 上限は、候補を選ぶための条件です。将来の損失をその範囲に抑える保証ではありません。

リバランスは、資産を売買して、決めた配分へ近づける操作です。

項目	意味
Vol 上限の開始／終了／刻み	比較する値動きの上限範囲。上限ごとに候補を選びます。
リバランス	なし、定期、または両方式を比較します。
リバランス間隔（月）	定期的な配分調整を何か月ごとに行うか。
売買コスト（片道%）	売買時の費用を仮定します。
譲渡益税率（%）	売却して確定した利益に対する税率を仮定します。
配当・分配金税率（%）	配当等に対する税率を仮定します。
開始日／終了日	使用する履歴の範囲。追加指定しない場合は空欄です。

税や費用は分析用の仮定です。実際の口座や税制の全条件を再現するものではありません。適用すべき税率をアプリが判断するわけでもありません。

有効な設定変更は通常、自動保存されます。保存エラーが出た場合は、その案内を確認してください。

7. 分析を実行する

「実行」は、準備したデータと条件で分析を始める画面です。

7.1 実行前に確認する

1. 計算環境が確認済みか確認します。
2. 分析対象の資産、金額、通貨、年数を確認します。
3. 実データを使う場合は「利用権：購入済み」を確認します。
4.「詳細設定 → 出力」で保存する結果の種類を確認します。

通常の結果確認には「標準（推奨）」を使えます。「すべて」は大量のファイルを作る場合があります。

7.2 分析を始める

1. 左メニューの「実行」を開きます。
2.「シミュレーション開始」を押します。
3. 確認画面で実行名を指定します。空欄でも実行できます。
4. 処理段階、進捗、経過時間を確認します。
5. 完了したら「結果サマリー」へ進みます。

実行名は、後から結果を見分けるために使います。新しく実行すると、新しい結果フォルダを作成します。推定残り時間は目安です。

7.3 止める・続きから再開する

1. 止めたいときは「停止」を押します。
2. 保存と停止の案内を待ちます。
3. 再開できる中断データがある場合は「続きから再開」を使います。

設定が停止時と異なると、再開できない場合があります。「停止時の設定に戻す」は、現在の条件を変更する操作です。内容を確認して使用してください。

保存中の強制終了は避けてください。
再開できない場合の詳しい確認は、詳細取扱説明書の第 15・28 章を参照してください。

8. 結果を見る

開く場所：左メニュー → 結果サマリー

8.1 確認する結果を選ぶ

1. 上部の「結果」プルダウンを開きます。
2. 確認する完了結果を選びます。
3. 実行名や条件が合っていることを確認します。
4.「ダッシュボード」「資産推移」「詳細データ」を切り替えます。

「更新」は結果一覧を読み直すボタンです。新しい分析を実行するボタンではありません。

8.2 ダッシュボードで全体を見る

資産額や収益率、値動き、配分をまとめて見る画面です。

1. 表示する期間・リバランス・Vol 上限を確認します。
2. 資産額や配分を見ます。
3. XIRR などの指標を、第 9 章と照らし合わせます。

XIRR は、入出金の時期を考慮した年率の収益率です。リスク・リターンの散布図では、点をクリックして表示 Vol 上限を切り替えられます。

8.3 資産推移を見る

資産額が途中でどう増減したかを見る画面です。

1.「資産推移」を開きます。
2. リバランス、Vol 上限、「使用する配分」、評価年数を確認します。
3. 最新／ BEST ／ MEDIAN ／ WORST ／期間指定から選びます。
4. 期間指定では開始・終了を指定し、「表示」を押します。
5. グラフへマウスを置き、年月と値を確認します。

表示	見る期間
最新	利用できる履歴の最新側の評価期間。
BEST	選んだ配分・条件で、終了時資産額が最良の代表期間。
MEDIAN	終了時資産額が中央付近の代表期間。
WORST	終了時資産額が最悪の代表期間。

これらは過去の代表期間です。将来の最良・標準・最悪を予測するものではありません。また、後から選んだ配分を過去の期間へ当てはめた結果である点にも注意してください。

8.4 グラフを大きく見る

1.「グラフ詳細」を押します。
2.「表示」で資産推移／ドローダウン／上下表示を選びます。
3. ウィンドウを広げるか、最大化します。
4. 上下表示では、境界線をドラッグして高さを変えられます。

ドローダウンは、それまでの高値からの下落率です。画像の保存は第 11 章で説明します。

8.5 詳細データ・配分比較を見る

1.「詳細データ」を開きます。
2. 期間とリバランスを確認します。
3.「表示項目」で、Vol 別詳細／期間別統計／配分比較を選びます。
4. 列が見えないときは、横スクロールや「前の列」「次の列」を使います。
5. 行を詳しく見る場合は「選択行の全項目」を使います。

「配分比較」は「詳細データ」の中にあります。
同じ分析の中で、Vol 上限ごとに選ばれた資産配分を比較できます。

結果を保存する場合は第 11 章へ進んでください。

9. 指標の見方

まず、金額・通貨・評価期間が同じ条件か確認してから比較します。

指標・用語	簡単な意味	読み方の注意
最終資産	評価期間の最後の資産額。	利益だけではなく、投入した元本も含みます。
XIRR	入出金の日付と金額を考慮した年率の収益率。	総利益を年数で割った値ではありません。
Vol	リターンの変動の大きさ。	数値が大きいほど上下のばらつきが大きいことを表します。
最大ドローダウン	評価期間中、高値から最も大きく下がった割合。	将来の損失上限ではありません。
累計投資元本	初期投資と、その時点までの積立額の合計。	運用利益を含みません。
評価損益	評価額と元本との差。	最終資産そのものとは別です。
リバランス	売買によって、決めた配分へ近づけること。	費用・税の条件も結果に影響します。
資産配分	どの資産へ何%ずつ振り分けるか。	本製品の表示は売買推奨ではありません。

「平均」は値の合計を件数で割ったものです。「中央値」は値を並べた中央の値です。極端に大きい値があると、両者は離れることがあります。

最終資産額と XIRR は、リバランス費用と実現利益への税を控除した値です。一方、Vol や最大ドローダウンには、その月のリバランス費用・税を直接控除していない計算上の違いがあります。詳しくは詳細取扱説明書の第 13・30 章を参照してください。

10. 自由配分を使う

「自由配分」は、自分で決めた割合を比較する画面です。最適な配分を自動で探す機能とは別です。

10.1 固定配分を作る

1. 左メニューの「自由配分」を開きます。
2.「1 配分」で、使う資産の割合を入力します。
3. 使用しない資産を 0%にし、合計を 100%にします。
4. 初期投資額・毎月積立額を入力します。両方 0 にはできません。
5. リバランスと間隔（月）を設定します。
6. セット名を入れ、「比較セットに追加」を押します。
7. 比較したい別の配分も同じ手順で追加します。

1 セットで配分を持つ資産は最大 10 資産です。基本設定の資産チェックとは別に、セット内の割合で使用資産を決めます。

編集するときは、一覧で選んだ後に「編集」を押します。「変更を保存」で反映し、「キャンセル」で変更を保存せず戻ります。「複製」を使えば、別の配分を作る出発点にできます。

10.2 比較を実行する

1. 右の「比較用配分セット」で、評価するセットの「比較」にチェックを付けます。
2.「次へ：実行」を押します。
3.「2 実行」で、共通の「評価年数」を選びます。
4. 必要なら「ローリング統計も計算する」を有効にします。
5. 表示期間を選びます。期間指定なら開始・終了年月も指定します。
6.「評価を実行」を押します。

評価年数は、ここで選んだ値を使います。基本設定のローリング期間とは別です。評価通貨や費用・税などの共通条件も確認してください。

10.3 結果を見る

完了すると「3 資産推移」へ移動します。セットごとのグラフを比較してください。

「4 詳細結果」では、「表示する結果」を指標比較／ローリング統計で切り替えます。行をダブルクリックするか Enter を押すと、全項目を確認できます。

条件を変更しただけでは、表示済みの結果は更新されません。変更後の条件を反映するときは、もう一度「評価を実行」を押します。

配分セットは保存されますが、評価結果の画面を終了後にそのまま再表示することはできません。
残したい表は CSV、グラフは画像として保存してください。

11. 結果を保存する

通常の分析結果は、実行ごとのフォルダに保存されます。ここでは、表や画像を取り出す方法を説明します。

11.1 表を CSV で保存する

1. 保存したい結果と表示条件を選びます。
2. 下表の場所にある「CSV 保存」を押します。
3. 保存先とファイル名を指定します。

保存したいもの	ボタンの場所
Vol 別詳細・期間別統計・配分比較	「詳細データ」で表示項目を選び、結果サマリー上部の「CSV 保存」。
通常結果の資産推移	「結果サマリー → 資産推移」内の「CSV 保存」。
自由配分の資産推移	「自由配分 → 3 資産推移」の「CSV 保存」。
自由配分の指標比較・ローリング統計	「自由配分 → 4 詳細結果」で種類を選び、「CSV 保存」。

保存する表は、ボタンの場所と選択項目によって異なります。同名ファイルを上書きするときは内容を確認してください。

11.2 グラフを画像で保存する

PNG は、グラフを画像として保存する形式です。

1.「グラフ詳細」を開きます。
2. 保存したい表示モードと大きさを確認します。
3. 上下表示なら、境界線を動かして高さを調整します。
4.「PNG 保存」を押し、保存先を指定します。

保存画像には選択した表示モードが反映されます。数値を使いたい場合は、画像ではなく CSV を保存します。

11.3 概要レポート・結果フォルダを開く

1.「結果サマリー」で対象結果を選びます。
2. まとめを見る場合は「概要レポート」を押します。
3. 保存済みファイルを確認する場合は「結果フォルダ」を押します。

概要レポートは、保存済みの分析をまとめた HTML 文書です。新しく計算する操作ではありません。「出力しない」などの設定でレポートが作られていない場合は、案内が表示されます。

結果を共有する前に、資産名・実行名・ファイル内容に個人情報がないか確認してください。

12. 結果を削除する

開く場所：結果サマリー → 選択結果を削除

選択した完了結果のフォルダ全体を、Windows のごみ箱へ移します。

1. 上部の「結果」で、削除する分析を選びます。
2. 必要な表やグラフを保存したか確認します。
3.「選択結果を削除」を押します。

4. 確認画面の結果 ID・フォルダ・削除範囲を確認します。結果 ID は結果を見分ける識別表示です。
5. 対象が正しい場合だけ移動を確定します。やめる場合は「キャンセル」です。
6. 更新された結果一覧を確認します。

結果内の表・レポート・グラフもまとめて移動します。
ほかの結果、元 CSV、登録資産、市場データ、設定、自由配分セットを一緒に削除する操作ではありません。

ごみ箱への移動に失敗した場合、永久削除には切り替えません。表示された案内を確認してください。

最後の結果を削除した場合

結果一覧が空になり、「結果なし」の状態になります。各画面の移動や終了・再起動はできます。新しい分析が完了すれば、結果を再び表示できます。

元に戻したい場合

Windows のごみ箱から復元できる場合があります。アプリ内に結果削除専用の「元に戻す」ボタンはありません。

復元できたら、結果サマリーの「更新」を押し、目的の結果を選び直してください。ごみ箱を空にした場合など、必ず復元できるとは限りません。

13. 言語・評価通貨・外観

開く場所：詳細設定 → 言語と通貨

1. 表示言語を選びます。
2. 必要なら評価通貨を選びます。
3. テーマを選びます。
4. 変更後の表示と金額を確認します。

対応言語は、日本語、English、Deutsch、Français、Español、Italiano、简体中文、繁體中文の 8 言語です。利用者が付けた資産名や実行名は自動翻訳されません。

評価通貨は、JPY ／ USD ／ EUR ／ GBP ／ AUD ／ CAD ／ SGD ／ CNY から選べます。

通貨を切り替えても入力金額は自動換算されません。
例えば 100,000 のまま JPY から USD へ変えると、入力単位は USD になります。意図した金額へ確認し直してください。保存済みの結果は、分析した時点の通貨で表示します。

テーマは「Windows の設定に合わせる」「ベーシック（ライト）」「ダーク」です。外観を変えても計算条件は変わりません。

14. データをバックアップする

バックアップは、現在のデータを別の場所へコピーして保管することです。

14.1 入力と結果をコピーする

1.「詳細設定 → メンテナンス → 利用者データを開く」で、実際の保存場所を確認します。
2. 分析などの処理が終わったことを確認し、アプリを通常終了します。
3. 開いた利用者データフォルダ全体を、新しいバックアップ先へコピーします。
4. アプリの外で保管している元 CSV もコピーします。
5. コピー先のファイル数やサイズを確認します。
6. バックアップ日とアプリのバージョンを記録します。

通常の保存先は、Documents 内の「PortfolioOptimizer」です。保存場所が異なる場合もあるため、手順 1 で確認してください。

14.2 設定や登録情報も残す場合

入力・結果のフォルダだけでは、設定・資産の登録情報・自由配分セットまで保存できません。
これらは別の領域にあります。

アンインストールや PC 移行の前には、詳細取扱説明書の第 24 章「データ保存とバックアップ」に従って、設定側も別に保管してください。

復元するときは、現在のデータも先に保存します。古いバックアップを無条件に上書きしないでください。別 PC へコピーすれば、すべて元どおりになるとは限りません。

15. Microsoft Store ライセンス

ホームの「利用権」は、現在確認できている利用範囲を示します。

表示	意味
購入済み	購入済みの有効な利用権を確認できています。
Trial	期限なしの無料体験範囲です。
無効なライセンス	有効な利用権として扱えない状態です。
ライセンスを確認できません	確認できていない状態です。未購入と断定する表示ではありません。

購入したのに使えない場合

1. 起動直後であれば、その後の利用権表示を確認します。
2. インターネット接続を確認します。
3. Microsoft Store で購入したアカウントを確認します。
4. 必要に応じて、利用権のダイアログで「ライセンスを再取得」を使います。
5.「購入済み」になったことを確認して、元の操作へ戻ります。

ホームに「Assetalyze — Unlimited Trial」と書かれていても、現在の権利は利用権表示で判断します。

購入後も、利用権の確認が必要になる場合があります。常にオフラインで使えるとは限りません。確認できない場合も、対処のために保存データを削除しないでください。

16. 困ったとき

まず、表示されたメッセージと直前の操作を確認します。

症状	確認すること・対処
購入済みなのに登録や取得ができない	第 15 章で利用権を確認します。
CSV を読めない、日付や価格がおかしい	元 CSV とプレビューを照合します。読込画面の「詳細設定」で文字コード・日付順・小数点を確認します。
CSV 確認は成功したが分析できない	資産間の共通期間、必要年数、通貨・為替、選択資産数を確認します。
為替データが不足している	資産通貨と評価通貨を確認し、「基準データを管理」を開きます。
公開データを取得できない	接続、データモード、対応カタログを確認します。提供元の障害の場合もあります。
GPU を使えない	「計算環境」で再確認します。CPU を使う場合は計算方法を確認します。
計算に時間がかかる	資産数・配分刻み・期間数・出力量を確認します。条件を変えれば、別の分析になる点に注意します。
再開ボタンを使えない	停止時と現在の設定が合うか、画面の理由を確認します。
結果が見つからない	結果サマリーの「更新」を押します。最後の結果を削除した後なら、結果なしは正常です。
自由配分のグラフが前のまま	条件を変更しただけでは更新されません。「評価を実行」を押します。
ローリング統計を保存できない	自由配分の「2 実行」で「ローリング統計も計算する」を有効にし、再評価します。
概要レポートを開けない	その分析でレポートを出力したか確認します。表やグラフでも結果を確認できます。
表やボタンが見づらい	最大化やスクロールを使います。表は列ページ送りや行の全項目表示も使えます。

症状	確認すること・対処
ごみ箱へ移せない	対象フォルダの使用中や保存先に関する案内を確認します。手動の永久削除へ切り替えないでください。

高度なトラブルシューティング

起動エラーや未処理例外が出る場合は、次の情報を記録してください。

1. アプリのバージョンと発生画面。
2. 直前に行った操作。
3. エラーメッセージ全文。
4. 必要に応じて「実行ログ」の該当部分。

詳細な確認方法は、詳細取扱説明書の第 28 章を参照してください。ログを共有する前に、個人情報やファイル名を確認します。

原因が分からないまま「アプリ状態を初期化」「全データを完全削除」を使わないでください。
保存先や設定ファイルを直接書き換える前に、バックアップと詳細手順を確認してください。

17. アンインストール

アンインストールの前に、必要なデータを保管します。

1. 残したい結果の表・画像・レポートを確認します。
2. アプリを通常終了します。
3. 第 14 章に従い、入力・結果と、必要な設定・登録情報をバックアップします。
4. Windows のインストール済みアプリから Assetalyze をアンインストールします。

データ	通常のアンインストール後
アプリ本体	削除されます。
アプリ専用領域の設定・登録情報など	通常削除されます。
Documents 等の入力・結果	通常は残ります。
別に保管した元 CSV・書き出しファイル・バックアップ	アプリのアンインストールで一括削除する対象ではありません。

CSV や結果が残っていても、再インストール後に登録一覧や設定が自動で元どおりになるとは限りません。

データも完全に消したい場合は、先に詳細取扱説明書の第 29 章を確認してください。「全データを完全削除」は、結果 1 件をごみ箱へ移す操作とは異なります。

18. 詳細取扱説明書について

より詳しい説明は、次の文書を参照してください。

Assetalyze_User_Manual_1.0.55.0_JA.md ― 詳細取扱説明書／仕様リファレンス

知りたいこと	詳細版の章
動作環境・CPU/GPU・性能設定	第 2・7 章
現金資産・配当・レバレッジモデル	第 10 章
対応する公開データ・為替・金利	第 11 章
CSV の詳しい読込条件	第 12 章
費用・税・最適化の計算上の注意	第 13〜14 章
結果の指標・グラフ・出力	第 16〜20 章
削除範囲・ごみ箱・結果なし状態	第 21 章
自由配分の詳しい操作	第 22 章
保存場所・設定を含むバックアップ	第 24 章
利用権とトラブル対応	第 25・28 章
プライバシー・免責・アンインストール	第 26〜27・29 章

知りたいこと	詳細版の章
用語の意味	第 30 章

資産データと分析結果は PC 内で扱います。公開データの取得と Microsoft Store の利用権確認には通信があります。データ取得の「ローカルのみ」と、Store の利用権確認は別です。

製品は、分析 CSV・投資設定・計算結果を市場データの取得先へアップロードしません。ただし、ファイル名や実行名に自分の情報を入れた場合は、共有前に確認してください。

現在の利用条件とプライバシーについては、アプリの「法的情報」もお読みください。本書は詳細取扱説明書の操作案内を簡略化したもので、新しい機能や保証、販売条件を追加するものではありません。